

2021年8月18日

青海省の柴達爾炭鉱で崩落事故発生

青海省緊急事態管理局の発表によれば、2021年8月14日午後0時10分に、中国青海省海北チベット族自治州剛察県の西海煤炭公司の西海石炭柴達爾炭鉱で崩落事故が発生し、坑内に21名の作業員が取り残されました。

事故発生後、直ちに柴達爾炭鉱の救助隊は救助活動を開始し、2人が救出されましたが、(1人が死亡、もう1人は生命に別条なし)、19人がまだ閉じ込められている状態です。

引き続き、炭鉱救助隊と海北州の消防隊が事故現場で救助活動を行っています。

搜索現場の写真



現地当局の情報によれば、この炭鉱は、重大な安全上の懸念が認められたため、8月2日付で青海石炭監督局から、生産の停止および改善を命じられ、かつ生産に必要な免許も一時的に保留されており、潜在的な危険性の調査とその是正を実施しているところでした。地元当局は、徹底的に調査し、炭鉱の安全性の向上に努めると述べています。

柴達爾炭鉱は海拔3,500メートル以上の高地にあり、計画生産量は年間90万トン、採掘可能埋蔵量が7144.6万トン、炭鉱としての耐用年数は45年あります。本炭鉱で生産された石炭は主に電力供給と暖房用に使用されています。

現時点では、今後の電気供給と暖房使用への影響について正式な発表はされていません。

弊社業務には直接的な影響はありませんが、引き続きフォローし、情報の提供を行ってまいります。

以上